



「救命という使命」
 七宝北中に入學した生徒は
 最初の数日間
 頻繁に鳴る救急車や消防車の
 聞きなれないサイレンに
 驚くという
 その音が鳴るたびに
 人の命を救う尊い使命を担う
 海部東部消防署の方々が
 地域を縦横無尽に活動する
 みんなの命同様
 人の命は一つしかなく
 救命という活動には
 専門的な知識と経験が
 必要となる
 五つの班に分かれた
 教師と生徒は
 指導していただいた
 講師の動きの見よう見まね
 『手の形は…』と
 言われたことを
 自分の手でやってみる
 体験を積み重ね
 経験化したものが
 救命につながる



二年 救急法 6月21, 22日

